



16年前から 学生と水路清掃

こくふ わじ
国府町上地



細砂さん

慣れないなりに一生懸命にやってくれてからうれしいです



最初の不安は すぐに消えた

こくふ にしなり
江府町西成



山本さん

農業に関わってなくても、来てくだされば大歓迎です



(上) 春の水路清掃。冬の間、イノシシや雪崩の被害で落ちてきた石や土を除きます。(下) 一日の作業後の交流会。地元のお母さんが作ってくれた料理を食べて疲れを癒します。

●平成 28 年度の
ボランティア
5月 春の水路清掃
8月 夏の水路清掃

「農村16きつぶを呼んだきつかけは何ですか。」
上地には約4キロの水路があります。そこを管理するため、平成12年に10人ほどのボランティアグループを作りました。春には田植えを始める前に水路清掃をします。しかし、この長さを10人ほどで清掃してもなかなか終わりません。そこで知り合いの鳥取大学農学部教授に相談しました。すると、一緒に農作業をしてくれそうな学生がいると紹介してもらい、頼むことにしました。

「実際に学生たちと農作業をしてみたらどうでしたか。」
毎年学生が20人近く来てくれます。先程、4キロの水路があると言いましたが、そのうちの2キロはなかなかなのですが、残り2キロが険しく、途中には大きな石や土がたまっています。そのため、より多くの人手が必要です。力のある若者が来てくれるとすごく助かります。

「上地の魅力はなんですか。」
冬には雪がたくさん降るので、果樹ができません。また、鳥獣害の被害も多くて、今年は米が半分以下しか収穫できませんでした。このような弊害もある土地ですが寒暖差があり、高温障害にならないので、上地で穫れる米は国府町の中でもトップクラスだそうです。市内の人に自分で育てた米をあげたら、「やっぱり上地の米は違う。」と言ってくれました。これは私たちが誇れるところです。経済効果を考えると自分が作れるうちは自分で育てた米を食べていたいと思っています。また、鳥の声や花で季節の移り変わりがわかるのが日々の楽しみでもあります。



(上) 学生も草刈り機を使用しました。(下) イノシシ柵設置の様子。学生も参加したため、予定時間よりも早く作業が終わり、交流会の時間をたくさん取れました。

●平成 28 年度の
ボランティア
6月 草刈り
7月 草刈り
11月 イノシシ柵設置

「農村16きつぶを呼んだきつかけは何ですか。」
現在、地区には元気に働くことができる人が5人ほどです。また、高齢化も進み、公共事業の維持が難しくなってきました。3年ほど前、江府町の役場から農作業のお手伝いをしてくれる学生がいるという話を聞いていたので、依頼することにしました。

「実際に学生たちと農作業をしてみたらどうでしたか。」
依頼する前、学生は普段農業をしないのだから来てもらってもあまり作業が進まないのではないかと、怪我をしたらどうしよう、と不安で一杯でした。

そんな中、初めて頼んだのは草集めでした。地元の人が草刈り機を使い、刈った草を学生に集めてもらいました。人手が増えたこともあり、作業が予想以上に早く終わりました。さらに、よく話を聞いてみたら、

「西成の魅力はなんですか。」
大きく二つあります。まず、皆が協力的です。小さな集落なので人手が必要なのですが、助けを呼ぶかけたら、すぐに集まってくれます。

もう一つは、景色がきれいなところです。ここだと裏大山が真正面に見えます。紅葉の時期になると、まず大山が紅葉し、徐々に稜線の山々も色づき始めるんです。すごくきれいで、毎年、ここに住んで良かったな、と思うんです。

草刈り機を使ったことのある学生もいました。その時は怪我を心配して草集めだけをお願いしましたが、草を刈る人手が必要な時もありました。次の年からは私たちと一緒に草刈り機を使うようになりました。

また、若い人と話す私たちが若返ります。最近の略語や言葉は私たちには新鮮でそこから会話が弾み、楽しんでいます。

Tottori × 集落 Part 1

鳥取県の農業ボランティアを集落ごとに紹介するページです。

(編集：野田 幸宏)

若桜町吉川

Wakasa-cho Yoshikawa

吉川集落はスキー場のある氷ノ山の近くにあり、雪がたくさん降ります。豊かな自然に囲まれており、春には集落の方と山菜採りをします。種類やどんな場所に生えているのかを教わりながら採るので、山菜について詳しくなれます。

■お問合せ先
☎090-5377-0228
吉川 YYC
水口正己

5月 山菜採り
6月 猪糞設置



岩美町横尾

Iwami-cho Yoko

美しい棚田があり、懐かしさや心地よさを感じられる風景が広がります。5月に行われる田植えでは、子供たちと共に自然に触れる時間が過ごせます。稲を植えると景色の変わる棚田の田植えは貴重な体験で、地元の食材を使ったおいしい料理も出るのでお腹も心も満たされます。

■お問合せ先
☎0857-76-0103
いがみ田を守る会
平井貞夫

5月 田植え
9月 稲刈り
11月 収穫祭



鳥取市河原町神馬

Kawahara-cho Kamba

棚田があり、上からの眺めはとても美しいので「鳥取のマチュピチュ」と呼ばれています。ここでは様々な体験ができ、納涼祭では花笠踊りが披露され、女性の優美な踊りと男性の力強い踊りに魅了されます。麒麟獅子祭りでは笛や太鼓の音で獅子舞が踊ります。鳥取市からも近いので訪れてみてください。

■お問合せ先
☎090-5261-3993
森下光孝

6月 猪糞設置
10月 猪糞撤去
10月 麒麟獅子舞



鳥取市気高町逢坂

Ketaka-cho Osaka

ここでは、300年続く伝統行事の「うぐい突き」を体験できます。うぐい突きとは、水を抜いた溜め池に入り、竹で編んだカゴである「うぐい」を泥の中に突いて魚を獲る、伝統的な漁法です。気高町ならではの貴重な体験を通して、伝統を受け継いでいくことの大切さに気づけます。

■お問合せ先
☎090-4579-4589
うぐいつき保存会
谷尾幹夫

4月 芝桜植手入れ
5月 水路清掃
10月 うぐい突き



鳥取市青谷町澄水

Aoya-cho Sunzu

和紙が特産の鳥取市青谷町にある澄水集落。水がきれいで、川沿いに田畑がたくさん並び、美しい農村風景が広がっています。澄水集落は少ない人数ながらも、明るく活発な方ばかりで作業も交流会もとても盛り上がりがあります。

■お問合せ先
☎0857-87-0230
長谷川正昭

6月 草集め
10月 草刈り



八頭町志子部

Yazu-cho Shikobe

たった12軒の小さな集落です。しかし、小さな集落とは思えないほど様々な里山体験ができる活気ある集落です。体験内容は、田植えや梅収穫、芋掘りなどです。どの体験も家族での参加が多く、子どもが自然の中ではしゃぎまわる姿が印象的です。優しく受け入れてくれる温かさが故郷のように、いつも帰るときに名残惜しくなります。

■お問合せ先
☎0858-71-0608
志子部交流体験事務所

5月 糞張り
12月 玉作り



八頭町中村

Yazu-cho Nakamura

周辺に竹林が広がるとてもどかな集落です。春はタケノコ掘りのイベント、秋には竹を切って竹林を整備することで美しい里山を守っています。タケノコ掘りではクワやスコップ、竹を切り倒すためにノコギリやナタといった普段使えない道具を使う貴重な体験ができます。

■お問合せ先
☎0858-72-1595
中村自治会
西村辰寿

4月 タケノコ掘り
10月 竹林整備



智頭町中島

Chizu-cho Nakashima

智頭町の北部に位置します。若者との交流を目的に建てられた「中島伝承館」があります。多くの人の苗字が「植木」なので集落の人を名字で呼んでも気付いてもらえないかも！？ 初夏には梅収穫、夏休みは学生が集落に泊まりに行く「村咲く」という農村宿泊体験イベントをします。ぜひ中島集落へ私たちと行きましょう。

■お問合せ先
☎090-4572-5377
植木孝雄

2月 農村宿泊体験
6月 梅収穫
7月 猪糞設置



Tottori × 集落 Part 2

鳥取県の農業ボランティアを集落ごとに紹介するページです。

八頭町大江 Yazu-cho Oe

草刈りや鹿柵設置のお手伝いに行きます。魅力は、谷の奥で自然に囲まれて行う作業。自然の中にある集落の畑を見ながらの作業は、ボランティアに来ている学生たちの気持ちを奮い立たせるものがあります。きっとまた行きたいと思うことでしょう！

■お問合せ先
☎090-9068-6833
林正晴

5月 鹿柵設置
10月 草刈り



智頭町白坪 Chizu-cho Shirotsubo

山郷駅の近くの集落。主に味噌作りの体験ができます。集落の加工場で手作りの味噌を毎年生産しています。大豆を煮て麴を混ぜ、すり潰した後に樽に詰めます。この工程を1日に何度も繰り返すのでとても体力が必要です。しかし、他では味わえない達成感と普段出来ない経験ができます。

■お問合せ先
☎0858-75-0389
尾崎史明

12月 味噌出荷
1-3月 味噌仕込み



日南町多里 Nichinan-cho Tari

ここは、自然豊かな地域。7月末の「火祭り」では、1000本以上の手作りのロウソクに火をつけていくと、とても幻想的な雰囲気になります。10月には、鳥獣害対策として集落公認の柿採りイベント「柿ドロボー」があります。楽しみながら歴史や自然にふれることができます。

■お問合せ先
☎090-8362-4270
榎尾稔正

7月 多里の火祭り
10月 柿ドロボー



南部町清水川 Nambu-cho Shimizugawa

古事記によると、この集落に流れる水は大国主命の復活蘇生に使われたそうです。今はその水を使って古代米を作っています。私は稲刈りの時に巫女の衣装を着て神楽に参加しました。作業の前日はよく集落の方の家に泊まりますが、夜遅くまで談笑してしまうくらいとても話しやすい方ばかりです。

■お問合せ先
☎090-9467-3921
清水川農事生産組合
庄倉三保子

5月 田植え体験
9月 稲刈り体験
11月 収穫祭



鳥取市佐治町河本 Saji-cho Kawamoto

河本集落では、川に生い茂る葦を刈り、集めました。美しい山々に囲まれ、きれいな水が流れているので将来的にはホタル観賞ができる場所を目的としています。作業後には集落の方と水遊びもして、人とも自然とも仲良くなれる集落です。

■お問合せ先
☎0858-88-0633
伊縫一郎

7月 葦刈り
7月 葦集め



智頭町五月田 Chizu-cho Gogatsuden

五月田といえば「考え地蔵祭り」が最初に思い浮かびます。地元の人たちの迫力あるダンスや演奏、ちびっ子たちのかわいい踊りなどが見られます。フィナーレは田園に広がる打ち上げ花火。電灯が少ない山里の暗闇に、頭上すぐにパッと咲く花火は心奪われるほど美しいです。

■お問合せ先
☎090-7371-8803
三輪芳詳

7月 草刈り
8月 考え地蔵祭り



日野町別所 Hino-cho Bessyo

岡山県との県境に位置する集落です。別所集落では、野焼きという伝統的な農作業が体験できます。稲に日光が当たるように畦道の枯れ草を焼き払います。炎が斜面を駆け上がる光景は圧倒されます。一度は体験しておく価値アリ！

■お問合せ先
☎090-9062-5986
松本洋一

4月 野焼き



伯耆町福永 Hoki-cho Fukunaga

標高400mに位置し、大山の真っ白な雪と澄みきった空気に包まれた“ちっさな、ちっさな”集落です。活動は、花菖蒲のお花見会、通称・花菖蒲祭りのイベント補助や、水路に床板を敷くための草刈りや掃除もしています。集落の方と周囲の自然に魅せられ、何度行っても飽きることはありません。

■お問合せ先
☎0859-39-9077
佐藤宗三

5月 草刈り
6月 花菖蒲祭り
11月 床板かけ



ボランティア情報を得るには？

ツミキャリとは？

NPO法人・学生人材バンクが運営する情報提供システム。次の二つの特徴があります。

①各種情報が確実に伝わる

鳥取内外に住む社会人と交流するイベントや隠れ短期バイトなど、ボランティア以外の情報を得ることもできます。

②保険が適用される

ツミキャリでお知らせしたものに限りませんが、参加したボランティア等でケガをしても安心のサポートです。

1. ツミキャリ登録

①ツミキャリのホームページを開く



②「会員登録」から登録！



名前、メールアドレスなどの簡単な質問に答えて登録完了。



2. 申し込みメールを送る

登録したメールアドレスに情報メールが送られます。気になる情報があればすぐに記載されている連絡先へメールを送って、申し込みをしましょう。



3. 当日参加する

あとは当日を迎えるだけ。ケガをしないように注意しながら、私たち学生スタッフと一緒にボランティアを楽しみましょう！
当日の詳しい流れはP. 10へ。

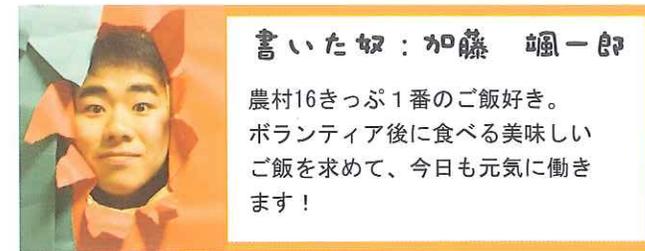


集落の方に玉飾りの作り方を習う(八頭町志子部集落にて)

のうそんごはん

ボランティア後のお楽しみ♡
ほかほかをいただきます！

集落のお母様方が慰労会で振る舞って下さるステキなご飯を一部紹介します！
疲れたカラダに染み渡ること間違いなし！！



書いた奴：加藤 颯一郎

農村16きっぷ1番のご飯好き。
ボランティア後に食べる美味しいご飯を求めて、今日も元気に働きます！

●カラフルちらし寿司

野焼き&草刈り@日野町別所

草刈りで炎の広がる範囲を決め、野焼きで自然環境を保全するというダイナミックなボランティアの後に食べた色彩の豊かさが目を引くちらし寿司。計算された丁度良い甘酸っぱさが食欲を掻き立ておかわりを誘います！お皿にてんこ盛りだったので、沢山食べる僕らがいくら食べても大丈夫！ボランティアに行った全員が大満足でした！

●採れたて山菜プレート

山菜採り@若桜町吉川

町おこしイベントで売る山菜を収穫するために訪れた八頭郡若桜町の吉川集落。森の中を歩き回ってヘトヘトになった僕らの前に出てきたのは、お母様方の熟練されたワザで変身した色とりどりの山菜たち！野生育ちの旬の食材だけあってその美味しさは折り紙付き！ゼンマイ、タケノコ、ユキノシタなどの山の幸の滋味で疲れも吹き飛び、お腹いっぱいになって帰りました！



～加藤のまとめ～

農村16きっぷがお手伝いに行く集落の方々、若者との交流を喜び温かく迎え入れてくれます。そんな方々と作業を終えた達成感を噛みしめながら食べる料理が美味しくない訳がありません。学生の為に丹精込めて作られたご飯の美味しさは、一日中その集落の方と共に働いたものだけが得られるものです。この感動が大きければ大きいほど、「またこの集落にきたい！」という気持ちも強まっていきます。

集落と学生は、ただの『依頼者』と『お手伝い』というツマラナイ関係ではありません。作業を通して交流を深め、食卓を囲んで杯を交わし、気心を許し合えるステキな関係なのです。

世代を越えた友人たちと苦労を分かち合い、楽しく食事をする。そんな場所を探しに出かけてみるのも、良いのではないのでしょうか？

意外なお土産も!? in. 気高町



「うぐい突き」という伝統行事のお手伝いに行った時のこと。町民の方がお土産にと持たせてくれたのは、なんと生きたスッポン！発泡スチロール箱に入れて持ち帰るのですが内心ドキドキでした…！そしてスッポンをさばいたのですがメチャクチャ怖かった！

(左上写真)

噛みつかれそうになりつつ調理を進め、味噌味の鍋物(左下写真)でいただきました。コラーゲン質のお肉は絶品でしたがもう怖くて二度とさばこうとは思いませんね～(笑)

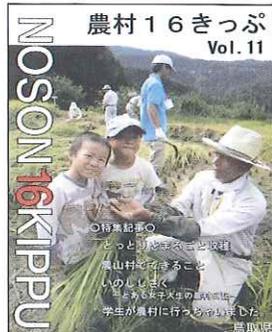


Back Number

●バックナンバーのご紹介
農村16きっぷが積み重ねてきた歴史がここに！
下記の文章をお読みの上お問い合わせください。
Vol. 1～9もお求めいただけます。



2011年(春)
特集
●農山村をお助けせよ！
●農女通信
●ムラのお品書き



2011年(秋)
特集
●とっとり収穫MAP
●Mr.ノゾノの農村案内
●女子大生農村日記



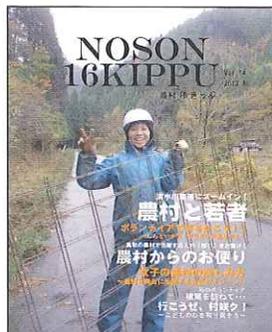
2012年(春)
特集
●バイクたちの日常
●ムラ暮らし
●CityBoy×鳥取



2012年(秋)
特集
●農村ふちトリっぽ
●私の初ボラ
●ほっこりとっとりめぐり



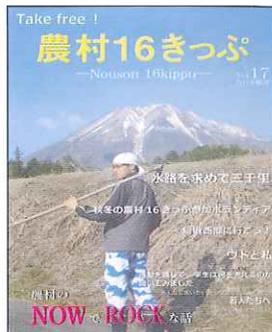
2013年(春)
特集
●城下町、鹿野に行こう！
●おつ×中央新報
●私とシカとイノシシと。



2013年(秋)
特集
●横尾を訪ねて
●農村からのお便り
●行こうぜ、村咲く！



2014年(春)
特集
●収穫！柿★ドロボー
●志子部の暮らしと文化
●鳥取にあったこんな珍祭



2014年(秋)
特集
●水路を求めて三千里
●ウドと私
●鳥取西部に行こう！



2015年
特集
●鳥取の農家さん
●梅追い人
●鳥取集落大図鑑



2016年
特集
●志子部の一日
●NousonGirl
●農村入門書

各パンフレット記事の内容は農村16きっぷ特設ホームページにてご覧いただける他、下記の連絡先までお問い合わせいただければ全冊子料金、送料無料でお送りします。

●農村16きっぷ特設ホームページ
<http://nouson.wixsite.com/nouson16kippu/blank-s940g>

●NPO法人 学生人材バンク連絡先
TEL: 0857-37-3373
FAX: 0857-37-3374
Email: info@jinzaibank.net



農山村の皆様へ

～学生と交流してみませんか～

＜申し込みからの流れ＞

- 1ヶ月前 ボランティアを要請
- 2週間前 ボランティア参加者を募集
- 3-5日前 人数確定次第、代表者の方に連絡します
- 当日 一緒に作業

○ボランティア

- ・農作業のお手伝い
イノシシ柵設置や水路清掃など、地域の方だけでは人手が足りない作業をお手伝いします。
- ・イベントの補助
伝統的な祭事や行事を開くことが難しいとき、お手伝いします。
- ・その他
集落の魅力が引き立つ『体験メニュー作り』、写真や映像などの、記録を残すなど、様々なことが可能ですので、お気軽にご相談ください。
※他のボランティア予定と重なることもあるため、早めのご要請をお勧めします。

○諸注意 ※申し込み前にご一読ください

- ① 参加者は任意での募集となるため、必ずしも希望される人数が集まると保証することはできません。あらかじめご了承ください。
- ② この活動は中山間地域の集落支援を目的としているため、個人単位での募集依頼は受けかねます。ご依頼は、グループや集落の単位からお願い致します。
(例) ◎ 集落全体の田んぼの手入れ
✕ 一人の田んぼの手入れ、など。

○当日の注意

怪我や事故防止のため、作業開始前に必ず簡単な安全講習の実施をお願いします。

- ③ 参加者の学生はボランティアですので、以下のようなお気遣いをお願いします。
(例) 作業後にお昼ご飯を一緒に食べる交流会を開いたり、それが難しくれば、何か手土産を持たせてあげる等。
- ④ 正式なお申し込みには、農村16きっぷへのご依頼と、市町村への申込書の提出が必要となります。この申込書の提出は、募集依頼の都度必要となりますので、ご注意ください。



鳥取県農林水産部農地・水保全課
鳥取県農山村ボランティア事務局
NPO法人 学生人材バンク

(編集: 湊 ゆみえ)

Tel:0857-37-3373

〒680-0945 鳥取県鳥取市湖山町南 1-246
FAX:0857-37-3374
E-mail:info@jinzaibank.net
URL:http://i-site.jinzaibank.net/dd.aspx



鳥取県 農林水産部 農地・水保全課
鳥取県農山村ボランティア事務局
NPO法人 学生人材バンク

〒680-0945 鳥取県鳥取市湖山町南 1-246
TEL:0857-37-3373
FAX:0857-37-3374
E-mail:info@jinzaibank.net
URL:http://i-site.jinzaibank.net/dd.aspx